



第4号
発行日
平成26年2月1日
発行
社会福祉法人
かしの木会 くず葉学園
発行人 加藤契子
〒259-1302
神奈川県秦野市菩提2058-2
印刷：オフィス・フルプリント

TEL (0463) 75-3221 FAX (0463) 75-2550
URL : <http://www.kuzuhagakuen.com/>



足許を確認し 躍動の年にしよう

社会福祉法人
かしの木会 くず葉学園
理事長

飯田 雅子

一年の計は元旦にありと申します。平成26年を迎え動き出しました。各々の立場でこの一年の進めを決意したいと思えます。

まず根幹となる利用者さんの暮らし・過ごしはどうでしょう？

日々、元気な笑顔をどれほど見せておられますか？表情や動きの中に、本人の心の状態がそのまま現れるのが彼らです。にこやかな元気な、いい顔をされていれば「よしよし」と捉えてよいでしょう。逆に浮かぬお顔に出会ったら、何かあるな!!と思わなければなりません。そして、この「何か?」を探り考えてみましょう。この気づきは、利用者さんの快適な一日の創出には鍵となるものなのです。気づかぬまま過ぎてしまうと、利用者さんは適切な支援を受けられず、弱い力をふり絞って過ごさねばならず、つらさが残ってしまいます。支援とは、こうならないための対応なのです。しかも「よし」と捉えられる姿でも、自力で得ている方は少なく、何らかの励ましや承認を得、快となる共感を得てこそその姿なのです。ここに人との関わり的重要性のあることを再確認しましょう。そして、大切なことは、一人ひとりの一日の内容にあるということです。元気な日ばかりではなく病気になる日もありますが、それはそれとして受け止め、各々の局面をしっかりと適切に充実に向かわせるということを考えた支援です。しかも利用者さんは、各々のステージに立ち今を進んでいます。利用者個々の今の状態を把握した上での充実した日々になることなのです。

次には、彼らへの理解・認識が正しい周りの人たちが大勢で支援できているか？です。周りの者の筆頭は家族さんと職員です。家族は彼らの心の核になっています。心待ちする家族会の日・出会った際の何ともいえない大人らしいはにかみも含んだ笑顔やストレート

にうれしさを現す様子です。また日々の「行ってきます」「ただいま」の本人の挨拶を支える送り出し、迎え入れとなる瞬間の様子に現れます。しっかりと家族の一員としての位置を感じ、安心と励みを得ているのです。そして、職員の存在は現実です。一見して日々繰り返している時の流れのように伺えるものの中に、彼らがしっかりと自らの存在を確認できているかどうかの支援です。彼ら各々の感性によって得る感じ方は異なりますが、十分感じ取る力を備えている彼らです。そして一日の過ごしの中に、自分を感じることができた充実は、必ず彼の心に感性を通して届けられます。このことを専門職としての支援というのです。こうして理解され、彼らなりに胸を張って生きる姿を具現する歩みであることを心得ましょう。

こうして、周りの人たちに支えられながら、しっかりと生きる姿をもってして、地域の人たちに、社会の人たちに正しく理解される啓発としての発信をしていくのです。

社会の人たちの認識はずいぶん上昇してきたとは思いますが、まだまだ十分ではありません。人を尊ぶ心、人を大事にする心を養ってのノーマライゼーションの実現です。大きな目標ですが一歩前へ進めなければ到達は成りません。

その一歩を踏み出したいと思えます。

今年当園創立30周年を迎えます。彼らの心豊かな人生を創る一つの節として自覚し、みなさんと共に、心一つにして進んで参りたいと思えます。



飯田 雅子さん(76)

瑞宝双光章 知的障害者施設「弘済学園」元園長

幼児療育に力注ぐ

知的障害者の総合福祉らひ、育児に向き合う場センター「弘済学園」を提供した。成人に対し（神奈川県）で一九九七年は、粗悪行為や拒食な四年から十一年間、園長 どの強度行動障害の改善を求めた。施設の子どもにも取り組んだ。もやその家族と取り組ん 「健常者に近づけよう」できたことが評価されて は間違いない。本人の特性を

光栄と喜び、見極めて人格形成をサポートすること大切と五九年来に就職。特に尽力 強調する。現在、社会福祉士の資格取得、母子 社団法人近江をめぐり総入園による五月合宿を 括園長を務める。（辻井勇太）

中日新聞
2013年11月3日付
「秋の叙勲」から

スポーツ フェスティバル



2013年11月9日

*午前はウォークラリーにジェンカ・
午後は玉入れにパン食い競争。み
んなとっても良い笑顔でした。



日帰り旅行

2013年8月~11月



*天気に恵まれホテルでのランチを楽しんだり、
クルージングでランチを楽しんだり、大満足の
旅行でした。(日中活動単位で実施)

くず葉学園展示会

11月24日(日)~28日(木)の5日間、展示会を開催しました。
秦野市内の「ギャラリー照」でお世話になること今回で7
回目です。今年は「和」をテーマに織物、硝子、紙すき、
お花を展示しました。お蔭様で沢山の方に来場して頂き、
5日間を盛況で終えることができました。
スタート当初は、「多くの人にくず葉学園の製品を見てもら
いたい、知ってもらいたい」という思いではじまりました。

回を重ねるごとに来場者数が増え、今では製品を愛用して
下さる方や開催を楽しみにして下さる方が大勢います。こ
の展示会は、利用者や母親ボランティアの方、職員が一丸
となって作り上げています。
何よりも利用者の「社会参加の機会」であり、「日々の努力
を発表する場」となっています。次の開催に向けて、日々
頑張っていますので応援よろしくお願ひします。





クリスマス会

2013年12月20日



みなさんが待ち焦がれた『くず葉学園クリスマス会』が開催されました。職員によるパフォーマンスで幕を開けました。今年のクリスマスランチは、「さくさくチキン」をメインに計8品。給食職員による手作りランチどれもおいしい品ばかりでした。ランチの後は、ボランティアさんによる「オカリナ演奏」。今日のために練習を重ねてきた利用者の皆さんによる出し物の数々で会場は大いに盛り上がりを見せました。ケーキタイムの後は、いよいよお待ちかねのプレゼントタイム。サンタクロースからのプレゼントに皆さん大喜びでした。そして、フィナーレは「Yさんバンド」による演奏。なんと、加藤園長がボーカルに加わるサプライズ。本当に、本当に楽しい、笑顔溢れるクリスマス会となりました。



餅つき

2013年12月26日

冬休み前に恒例の餅つきを行いました。今や餅は既製品を買うか、ついても餅つき機という時代ですが、学園では昔ながらに臼と杵で餅をついています。ド〜ンドンと太鼓の合図に「よいしょ！」の掛け声とともに、利用者の皆さんと職員が協力して美味しいお餅をつきあげました。出来立てのお餅は、「きなこ」「あんこ」「大根おろし」の三種類に味付けし、美味しくいただきました。



Mayumiの
簡単レシピ

イワシのさんが焼き

節分といえば、豆まきですね。豆まきは、邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがあります。その他に、鬼が嫌う柗（ひいらぎ）の枝にイワシの頭を刺したものを玄関口に飾り、炒った大豆を年の数だけ食べるなどの習慣があります。

当園でも豆まきをしますが、給食ではイワシを食べちゃいます。お魚が苦手な利用者さんも多いのですが、このメニューはみなさんペロリと食べてしまうようです。



「さんが焼き」は千葉の漁師料理で、イワシで作ります。生でいただければ「なめろう」、焼くと「さんが焼き」になります。

材 料

- いわし 4尾 (160g) しょうが 1かけ (2g)
- 長ネギ 20g 大葉 4枚
- 味噌 小さじ2 みりん 小さじ1/2
- 醤油 小さじ1 ごま油 適量

作り方

1. イワシを手開きし、包丁でたたく。
2. しょうが・長ネギ・大葉はみじん切りにし、調味料とたたいたイワシと混ぜ合わせる。
3. 小判型に整えて、ゴマ油をひいたフライパンで焼けば出来上がり。

ポイント

いわしはすり身を利用すると、手軽に作れます。全部混ぜて丸めて焼けばOKです。

~MISAKOの カルテから~

免 疫 力

利用者さんの「おはよう」の声で始まり「モリヤさん明日来る?」と見つめる瞳に癒され、菩提の山々の四季のうつろいを楽しむ、今年も新たな一年がスタートしました。

ここ数年の医務カルテでは、成人病・婦人科系疾患が多くなってきていますが、ここに来ては免疫力の低下を顕著に感じる緊急通院も多くなってきました。顔の腫れが歯髄の壊死から壊疽に進行したことよることか判明し、神経の治療が始まった方。また、太ももの湿疹で「痛い…」、直ちに通院したところ、ヘルペスの診断を受けました。

両件とも支援員の的確な報告で、速やかに通院・処置を受ける事ができました。免疫力低下防止は利用者さん・職員共に必要なことですね。

できるだけ規則正しい生活に心がけ、良く眠り・良く食べて(ほどほどに?)、個々人のストレス解消術を身につけて元気に生活しましょう。

研修会だより (12月18日現在)

8月	風間 茂生	相談支援従事者研修	山口由美子	普通救命講習Ⅱ
	原 洋	高齢者セミナー	本多 賢哉	〃
9月	國信 稔	全国施設職員研究大会	原 洋	高齢者セミナー
	長谷川美奈子	中堅職員研修	11月 松本潤一郎	指導的職員(リーダー)研修
	森下 桂子	〃	大久保華奈子	〃
	和賀 央哲	〃	鍵和田真由美	褥瘡予防セミナー
	三浦 祐介	「にこり、ホット」について考える	原 洋	高齢者セミナー
	小沢恵美子	強度行動障害基礎講座	古家 英樹	相談支援現任研修
	小久保孝二	普通救命講習Ⅱ	12月 鈴木 尚弥	知的障害者の方の身体機能低下への対応
	原 洋	高齢者セミナー	原 洋	高齢者セミナー
10月	後藤 克彦	スーパーバイザー研修		

編 集 後 記

平成25年度のLeafは年間2回の発行予定となっています。

8月に第3号を発行して以来となりますので、学園での出来事が盛り沢山で紙面いっぱいです。

次号の発行をお楽しみに!

広報委員会

- 委員長 小久保孝二事務長
- 委員 井上浩一生活支援課長
- 古家奈美係長
- 佐々木ひろよ 原田智治
- 國松基祥
- 船坂真由美管理栄養士